

神保町レトロ建築さんぽ



世界最大の古書店街といわれる神田神保町。ここは東京大空襲でも奇跡的に戦火を免れ、「看板建築」など昭和初期の古い建物が残るまち。この界隈には出版社や大学も多く、「文化人のまち」として路地には老舗の喫茶店や飲食店も多く残り、昭和初期を偲ばせる魅力を醸しだしています。しかし、コロナ後や再開発などにより、その町並みも変わりつつあります。今回は、『民家』の編集長*がそのディープな世界へご案内します。是非ご参加ください。

(企画:『民家』企画編集委員会)

*平野薫:神保町勤務 26 年、著書に『神保町おじさんぽ』

日時 3 月 28 日(土) 13:30~15:00 頃(終了時間は多少変動あり)

場所 千代田区神田神保町・駿河台界限

集合 13:30 (受付 13:15~)

地下鉄(半蔵門線、都営新宿線・三田線)神保町駅 A6 出口(岩波神保町ビル脇)

参加費 一般 3,000 円、JMRA 会員 2,000 円 (現地で集金、釣銭のないよう願います)

募集人数 15 名(先着順 定員になり次第締切)

申込み 参加者一名ごとに、JMRA ホームページ Google フォーム

<https://forms.gle/jVNqtKq7CM28iQZZ8> よりお申し込みください

その他 少雨決行、歩きやすい服装でご参加ください。

当日連絡先 参加者には別途お知らせ致します

